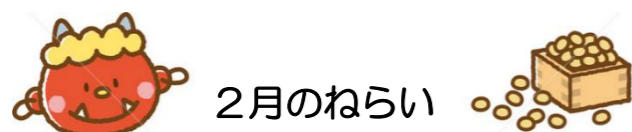




令和4年2月1日  
鶴来第一幼稚園  
園長 大角 智恵美

幼稚園の園庭も地面がやっと見えてきたなと思っていたのですが、今朝また雪が積もりました。金  
劔宮の桜の木も真っ白で、雪の花が咲いたようでした。今日から2月です。天気予報を見るとまだ  
まだ雪マークが並んでいます、3日後には立春を迎え、暦の上では春となります。園庭の梅の蕾が  
少し大きくなっていたり、晴れた日のわくわく池でメダカが泳ぐのを見かけたりすると、少しずつ季  
節は移り変わってきているのだなと感じます。

今年も獅子吼の鬼から手紙が届きました。でも、今年の鬼は去年までの鬼とちょっと様子が違うよ  
うな…? 「いつもみんな たのしくあそんでいるな!! ようちえんに すんでみたいな」 もしかし  
て、獅子吼の鬼さんも幼稚園の子どもたちと遊びたいのかな? 各クラスでは鬼が来たらどうするか、  
毎日のように作戦会議が行われています。先生に読んでもらう絵本の中の鬼は優しい鬼が多いよう  
でお菓子やおもちゃでおもてなしをしようと考えている子もいれば、でもやっぱり鬼だから怖い気持ち  
もあって幼稚園に入ってこないためにはどうしたらいいかを考えている子もいます。いろいろな考え  
を巡らせ、友達と話し合いながら鬼を迎える準備を進める中に、子どもたちの学びや成長がとてもわ  
かりやすく表れる活動だなと思います。



こま回しやなわとびの練習をがんばっている姿をよく見かけます。自分で目標を決め、それに向か  
って努力できるってカッコいいですね!

- つくし ○生活に必要な習慣がほとんど身に付き、自分でしようとする。  
○保育者や友達との言葉のやり取りや、見立て遊びを楽しむ。
- 年少 ○友達と遊ぶ中で、思いが伝わる嬉しさを味わう。  
○友達と一緒に遊んだり、表現したりする楽しさを味わう。  
○冬の自然にふれながら春の訪れを心待ちにする。
- 年中 ○体を十分に動かして健康に過ごす。  
○友達や異年齢児と関わって遊びを進める楽しさを味わう。  
○冬から早春にかけての自然の変化に興味を持ち、見たり触れたりして遊ぶことを楽しむ。
- 年長 ○自分たちの生活に見通しを持ち、友達と一緒に生活を進めようとする。  
○共通の目的に向かって、友達と思いや考えを伝え合いながら、協力して進める充実感を味  
わう。  
○自然の変化に関心を持って探求したり、自分なりの目当てに挑戦したりして、友達と一緒  
に遊びを存分に楽しむ。

- 「災害伝言ダイヤル」訓練について  
「災害伝言ダイヤル」の訓練を2月15日(火)に行います。実施の詳しいやり方は後日お知ら  
しします。もしもの場合あわてずに行動できるよう、ご家族みなさんでご参加ください。また、  
実施後のアンケートは17日(木)までにご提出いただきますようお願い致します。



- 保育参観について  
24~26日に保育参観を行います。今年も保護者のみなさんと子ども達の成長を共有するこ  
とが難しかったのですが、この機会にお子さんの今の姿をご覧になって、進級・進学を楽しみに  
していただけたらと思います。その際にはぜひ、お子さんがどんなことに興味をもち、どんなこ  
とをがんばっていて、今どんな力が育とうとしているのかに目を向けてあげていただきたいと思います。  
字が読めるようになったり、絵が上手に描けるようになったり、英語が話せるようにな  
ったりするのはもちろん嬉しいことですが、「目に見えない力」こそがこれからの時代を「生き  
る力」となります。  
クラス担任と顔を合わせる機会となりますので些細なことでも、心配なことや気になることがあ  
ればご相談ください。  
詳しい時間などは後日お知らせします。

**新年度に向けて・・・**

- \* 4月以降、バスの利用を新たに希望される方や止める方は10日までに園へお知らせください。
- \* 新年長、新年中クラスの保護者の方は、保育参観の後で次年度の学年委員と運営委員を決めます  
のでよろしくお願いします。



『くまのパディントン』や『うさこちゃん』のシリーズの翻訳などで知られる児童文学者の松岡享  
子さんが86歳でお亡くなりになったというニュースを目にして、松岡さんの書かれた絵本ガイドを  
持っていたことを思い出し、ページをめくってみました。

「どうぞ子どもたちに本を読んでやってください、というのが、私の第一の願いです。字の読め  
ない子どもたち - 書物の国へのパスポートを持たない子どもたち - を、本の世界に引き入れるため  
には、おとなの手助け - 本を読んでやること - が必要です。そして、そのように手をかしてやりさえす  
れば、幼い子どもでも、書物の国の立派な市民として、本の世界をたのしむことができます。～  
中略～ 読み聞かせは、字の読めない子のために、活字を声にかえてやるだけではないのです。おと  
うさんやおかあさんが子どもに本を読んでやる時、その声を通して、物語といっしょに、さまざま  
のよいものが、子どもの心に流れ込みます。そのよいものが、子どもの本を読むたのしみを、いっ  
そう深く、大きなものにしていくのです」(『えほんのせかい こどものせかい』松岡享子著)

そろそろ2階の絵本コーナーが完成しそうです。絵本が並ぶのが楽しみです。新しい作家さんの  
絵本も魅力的ですが、昔から読まれている絵本や昔話も大切にしていこうと思っています。これを機  
に、私たち教師も本の読み聞かせを改めて学び直し、力を入れていきたいと考えています。

